

shoulder to shoulder

SAO UNOFFICIAL FANBOOK

KIRITO*EUGEO

2024.06.30.

Presents by naniyueaiyue.



キリトさんとユーゾクくんが同棲をしている本です。
解釈違い等々あるかもしれませんが、何卒ご容赦ください。

最高なことに、ゲストを2名お呼びしております。
以下内容で書いて頂きました。

- ・全年齢
- ・2人は同棲している
- ・上級修剣士寮のような間取りの部屋に住んでいる
- ・ユーゾク君は鋼鉄ボディ

私すらいまいち全て網羅して描けてるかというところという感じですので、
2人が同棲しているオムコバス本くらいの雰囲気を読んで頂けると幸いです。

この本は個人的に作られた非公式ファンブックです。
二次創作をご存じない一般の方や、関係者様の目に触れぬようご配慮をお願いします。
無断転載・複製・複写・Web上への掲載(SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む)は禁止です。
処分する際は中身が分からない状態にしていただいた上で可燃ゴミとして廃棄してください

UWでの長い戦いを経て
現実世界へ戻ってきた
俺は

なんやかんやあって
ユージオと同棲
することになった



shoulder to shoulder/みそでんがく

…驚いたな

どうしたんだよ
ユージオ？

今日で僕たち
ここに住んでから
1か月経つみたい

……マジかよ

早いね！
もうそんなに
経つのか

ふひ！
あつと言う間
だったよね

まみ
書類手続きに

2人暮らしの
環境を整えて

ラースの
手伝いもあって

思い返すと
目まぐるしかったよな



それに

夜はへとへとで
すぐ寝ちゃって
いたしね

ユージオ

今日は何か
予定入ってるか？

……なあ

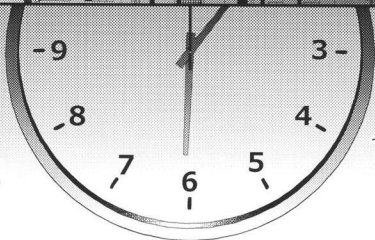


キリトの料理
楽しみにしてるよ

いつてきます

おう

らってらっしやいー!



カチッ

カチッ

カチッ

カチッ



昼ごろまでって
話だったけど

そこから
帰ってくるにしても
大分遅いような...



帰ってこない...

うん



いゃ
ラースの手伝いが
長引いてるんだろ

ユージオも
子供じゃないんだし
そんな心配しなくても...

でもこういうとき
ユージオが俺に
連絡をしないなんてこと...



カチッ

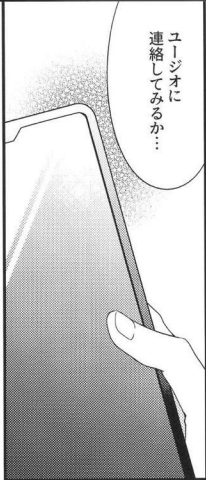
カチッ

カチッ

カチッ



……出ない



ユージオに
連絡してみるか……



機密性保持のために
GPSはつけられ
ないしなあ……

なにより
あいつの
自由のためにも
付けたくもないし……

あいつ
のほんとしてるから
誰かに騙されてたり……

凜子さんに
連絡してみるか



あの時はユージオを
失わずに済んだけど――



!!!

ああ

なんだって今

お千
ヤ

た
だ
い
ま
キ
リ
ト

帰るのが
遅くなってごめんね

折角の
お祝いだしと思って
蜂蜜パイを買いた
かったんだけど
見つからなくて…

だから
せめてケーキを
買おうと思ってさ

それで
調べてるうちに
すまほの充電が
無くなっちゃったん
だよ

もう帰った方が
早いかもって

でも
結局この時間に
なっちゃったん
だけど…

キ
リ
ト

ど
う
し
た
の
？

ミ



生きていくなんて

もし
お前を
失ってしまったら

1か月でこんなにも
お前との物が
溢れている家で

は
そもそも
俺は

お前のいない世界で



え？



ユージオ…



泣いているのに
気づかなかったの
かい？

ハイッ



はは
キリトは
大げさだなあ



…帰ってきてくれて
良かった



キリト…？



全然
大げさじゃないさ



あんな戦いから
生き残ったから

もう何があっても
お前を失うような
危険はないって
慢心してたんだよ

でも

でももしも…って

君の目に僕が
強く映っているなら

それはキリトが
背伸びしている
僕の姿を見ている
からだよ

…背伸び？

そう

僕はまだまだ
弱いけれど

一緒に歩いてくれる
キリトがいるから

君に恥じないよう
強くありたいって
背伸びをしているんだ





ごめんね…



キリト
心配かけて
ごめんね



ぎゅ



いや
ユージオが謝る
必要はないんだ

俺が
弱いだけなんだ



キリト
それは違うよ

：お前は俺を
過大評価
しすぎだよ

天職があるから
何も出来ないって
諦めていた僕を

星みために
優しく道を
照らしてくれた

現実の俺は
何のとりえもない
子供なんだから

それはあくまで
キリトから見た
自分の話だろ？

ここまで連れて
きてくれた君は

誰が
何と言おうと

僕にとって
たった一人の

英雄なんだから



はは
キリト苦しいよ



…俺は
お前がいないと
駄目になっちゃった
みたいだ

キリト



ああ



俺
ユージオと
過ごせて

本当に嬉しい



僕も
同じ気持ちだよ





俺はやっぱり
弱いけれど

お前が
いてくれるなら

ユージオ



そうだね





冷蔵庫
いはいになそじし...

それにしても
随分たくさん
作ったんだね!

食べられるか
不安だなあ...

...そーですね
二丁



あ、
おい!

キリトが
作ってくれた
ご飯食べなくちゃ
いけないだろ?!

もー

「アッ、アッ」



余ったら
明日食べれば
いいんだし



いいじゃないか

か
干
ゃ

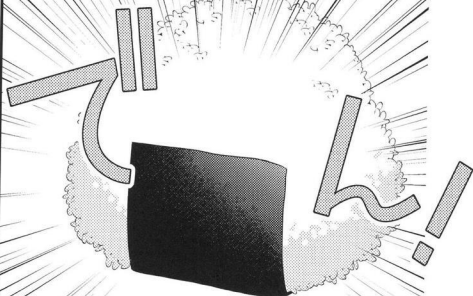
あれ
あんなにあつた
昨日の残りは
どうしたんだい？

ふん
ユージオ君
こちらを見たまえ

？

もしかして…

ふん
察しが
いいじゃないか



昨日の
ハンバーグを
おにぎりの具に
したのかい！？

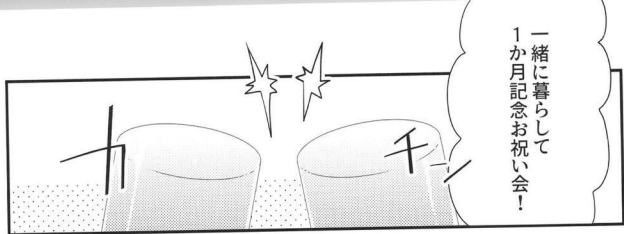
おにぎりって
鮭とか梅とか
いれるんじゃない
なかつたかな？

ふん
ユージオ君は
まだまだだな

その場にある
全ての食材が
おにぎりに
活かせるのだよ

アインクラッド流の
教えみたいにい
言うなよ！

ニク





まま、
朝ごはん
作ってくれて
ありがとう
早速
いただこうかな
どうぞ
召し上げれ!



おいしいよ!
そうだろう
そうだろう
まま
昨日のハンバーグ
美味かったしな
当たり前なんだから



どうだ?



どこにいても
君が僕に見せて
くれるものは



何もかも
目新しくも



敬服いたしました

キリト料理長殿！